

業務用アルコール測定システム

ALC-Rec.

拡張ディスク

(体温計)

ソフトウェアガイド

目次

1	注意事項	3
2	動作環境	4
3	機能概要	5
4	体温計使用方法の流れ	6
5	ALC-Rec 拡張ディスク（体温計）をインストールする	7
6	体温計設定	
	■ Finggal Link FLIRSTP-300	
	体温計ペアリング	9
	ALC-Rec 設定	12
	■ NISSEI MT500/550BT	
	接続ID 確認	14
	ALC-Rec 設定	15
	■ 使用しない（手入力）設定	
	ALC-Rec 設定	18
7	測定者の登録（体温のみ測定）	20
8	体温計測定方法	
	■ Finggal Link FLIRSTP-300	
	連続測定モード	22
	省電力モード	24
	■ NISSEI MT500/550BT	27
	■ 使用しない（手入力）設定	29
9	管理者の操作	
	■ メイン画面〔測定結果一覧〕で体温測定結果を確認する	31
	■ 測定結果詳細画面で体温測定結果を確認する	32
10	運用に合せた設定	
	■ 体温結果の表示方法を変更する	34
	■ 体温の判定を変更する	34
	■ 体温の受信音を鳴らす	35
	■ 体温の測定結果をメールで送信する	36
	■ プリンターで測定結果を印刷する	37
11	拡張された機能の詳細	
	■ 測定者用画面	39
	■ 管理者用画面	40
	■ 測定者登録メイン画面	41
	■ 測定者情報入力画面	41
	■ 他アクティベーション機能との連動	42
	■ 他システムとの連動	42
12	出力帳票	43
13	CSV 出力	44
14	困ったときは	45

ソフトウェア使用許諾契約書

東海電子株式会社（以下「弊社」といいます）は、お客様に、ソフトウェア（以下「本ソフト」といいます）を使用する権利を下記の条件で許諾します。

第 1 条 権利

本ソフトの著作権は、弊社に帰属します。お客様は、本ソフトおよびそのアップデートやバージョンアップの使用権を得ることはできませんが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第 2 条 第三者の使用

お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトおよびコピーしたものすべてまたはその一部を第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第 3 条 複製

お客様は、本ソフトの全部もしくはその一部をこのたびご購入いただいた弊社製品を接続するコンピュータ上での使用のためにのみ複製することができます。ただし、同一法人かつ同一事業所内に限ります。

第 4 条 変更及び改造

本ソフトの解析、変更または改造は禁止します。お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証をいたしません。また、解析、変更または改造の結果、万一お客様に損害を生じたとしても、弊社は一切の責任を負いません。

第 5 条 免責

1. 弊社は、本ソフトが全てのアプリケーションソフトからのアウトプット（印刷等）をいかなる条件下でも常に正しく行うこと、全てのアプリケーションソフトが常に動作すること、及びアプリケーションソフトの全機能を満足することを保証するものではありません。
2. 弊社は、本ソフトのご使用によりお客様が失った利益やデータに対する損害等、いかなる損害についても責任を負いません。
3. お客様がご使用のオペレーティングシステムをバージョンアップされた場合に、お客様は本ソフトの一部がお客様のご使用のコンピュータ上で作動しないことがあり得ることを、あらかじめ了解し、弊社に対してその責任を問わないものとします。

第 6 条 輸出規制

お客様は、いかなる方法および目的によっても、本ソフトおよびその複製物を違法に日本国外に輸出してはなりません。

第 7 条 契約解除

お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、お客様に対し何らの通知・催告を行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。お客様は本契約が終了したときは、直ちに本ソフトおよびそのすべての複製物を破棄するものとします。

第 8 条 サードパーティ

本ソフトとそのアップデートやバージョンアップには、サードパーティが保有する著作権により保護されたソフトウェアコンポーネントが含まれている場合があります。こうしたソフトウェアコンポーネントはサードパーティにより別途ソフトウェアライセンスに基づいて使用許諾されています。そのため、サードパーティのソフトウェアライセンスの利用規約は、該当するソフトウェアコンポーネントの使用時に適用されるものとします。本契約は、当該ソフトウェアライセンスに基づいてユーザーが有するいかなる権利や義務を変更するものではありません。

<ご注意>

1. このガイドに記載された製品は、信頼性、機能、設定の改良のため予告なく変更する場合があります。
2. このガイドに記載された図、表記等は、ご使用されているパソコンの環境、機種によって異なる場合があります。
3. このガイドに記載された内容の一部、または全部を無断で転用、転載することは禁止されています。

2 動作環境

【対応 CPU】

Intel® Core™ i5 シリーズ以降

【オペレーティングシステム（ 32 および 64 ビット日本語版）】

Microsoft® Windows®8.1	Pro
Microsoft® Windows®8.1	Enterprise
Microsoft® Windows®10	Pro
Microsoft® Windows®10	Enterprise

※上記の OS で Windows Media Player を使用できる環境

※NISSEI の体温計は、windows8.1 ではご利用いただけません

【画面解像度】

1024 × 768 以上

【メインメモリ】

32 ビットOS使用時：4GB

64 ビットOS使用時：8GB 以上

【ハードディスク（空き容量）】

10GB 以上（動画撮影時 100GB 以上を推奨）※1

【接続インターフェース】

USB2.0：1 個（カメラ用1 個）※2 ※3

シリアルポート [RS-232C (D-Sub9pin)]：1 個（PRO II 本体接続用）※3※4

Bluetooth 4.0※5

ALC-PRO II ファームウェア 510.1.1.050 以降 または 610.1.1.050 以降

※1 1 日：100 測定×365 日、1 測定：2MByte 以上として換算。動画再生に WindowsMedia Player を使用します。

※2 マウス、プリンター等、PC 周辺機器を使用される場合は別途 USB ポートが必要になります。

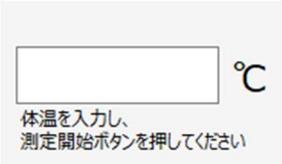
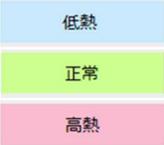
※3 USB ハブは使用できません。

※4 ご使用の PC にシリアルポートがない場合は、弊社指定の USB 変換ケーブルをご使用ください。

※5 Bluetooth モジュールがない PC の場合別途 Bluetooth のアダプタをご用意いただく必要があります。

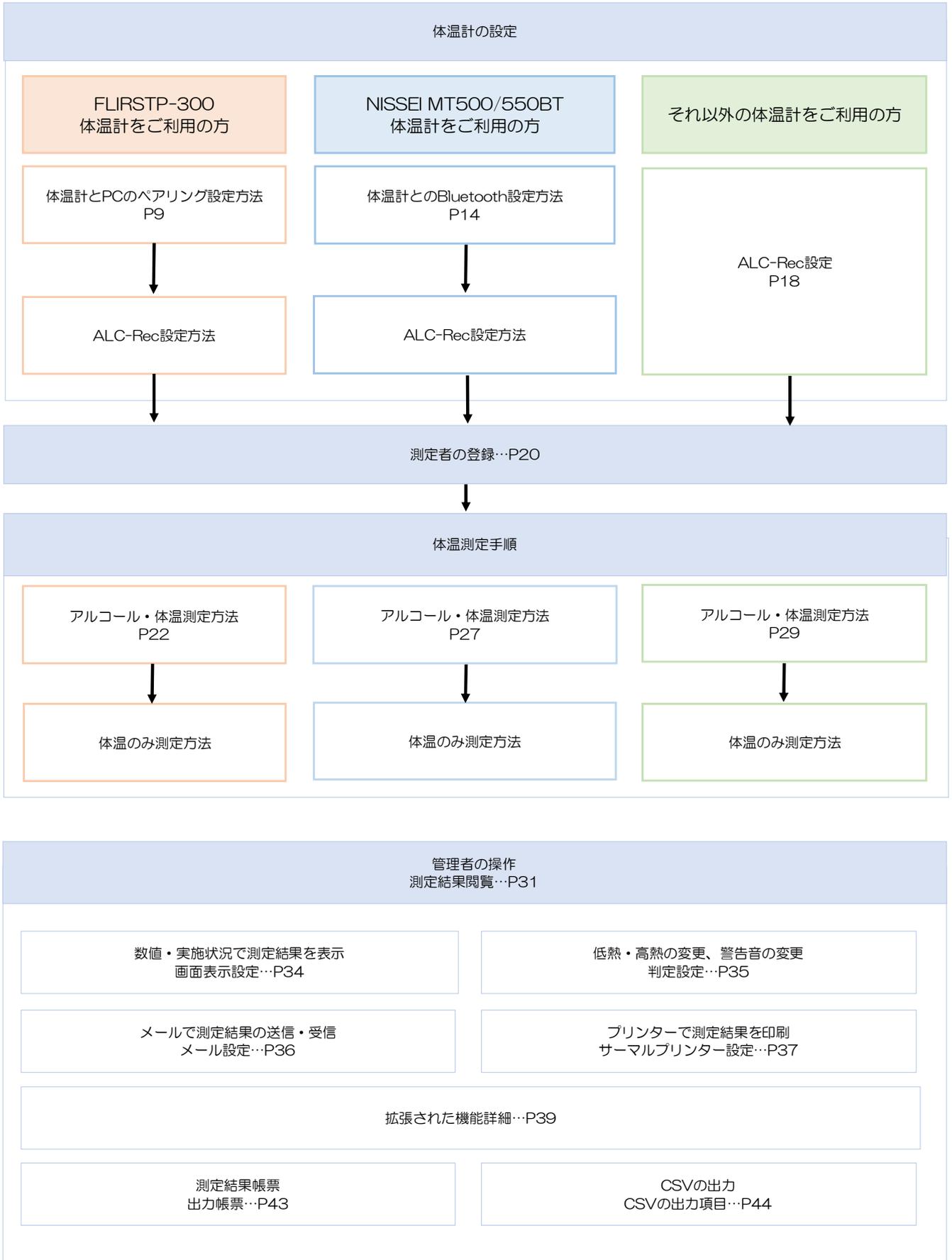
3 機能概要

ALC-Rec 拡張ディスク（体温計）をインストールすると、
アルコール測定結果に加えて体温測定結果を記録・管理することができます。
具体的には、以下の機能が使用できます。

<p>お手持ちの体温計で 測定した体温結果を手入力</p>  <p>体温を入力し、 測定開始ボタンを押してください</p>	<p>アルコール測定なし 体温のみの測定結果を管理</p> 	<p>体温情報もメールで 送信・受信</p> 
<p>測定結果帳票で 体温情報追加</p> 	<p>CSVに 体温情報追加</p> 	<p>過去の体温測定結果から 平熱を算出</p> 
<p>測定結果の低熱・高熱を 一目で区別可能</p> 	<p>体温測定結果受信時、 音声で体温結果を通知</p> 	<p>IC免許リーダーで 体温測定開始</p> 

4 体温計使用方法の流れ

体温計は機種によって設定方法・測定方法が異なります。
機種ごとの設定・測定方法、管理者の操作は以下のページです。

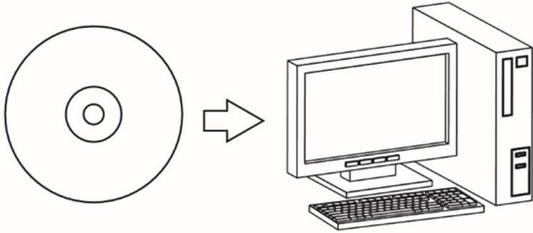


5 ALC-Rec 拡張ディスクをインストールする



「ALC-Rec 拡張ディスク（体温）」をインストールする前に、測定ソフトウェア注意「ALC-注意 Rec」をインストールしてください。

ステップ 1



「ALC-Rec 拡張ディスク（体温）」の CD-ROM を PC にセットします。

ステップ 2



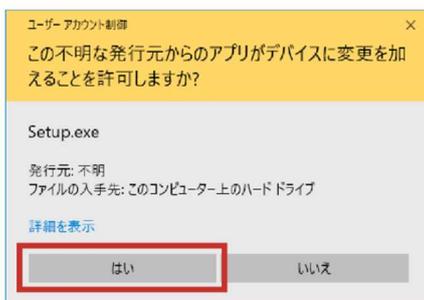
セットした CD-ROM 中にある「Tool_Activate.exe」をダブルクリックします。



注意

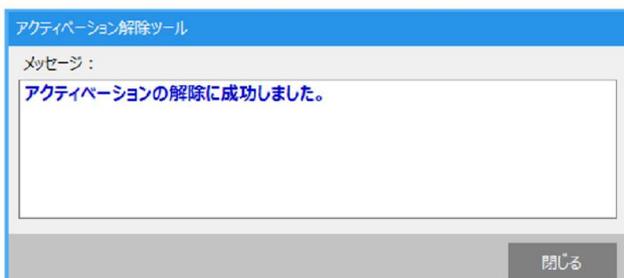
インストール前に、ユーザー権限が「管理者（Administrator）」であることを確認してください。

ステップ 3



「はい」ボタンをクリックします。

ステップ 4



「アクティベーションの解除に成功しました。」と表示されたら、体温測定の機能が使用できるようになります。

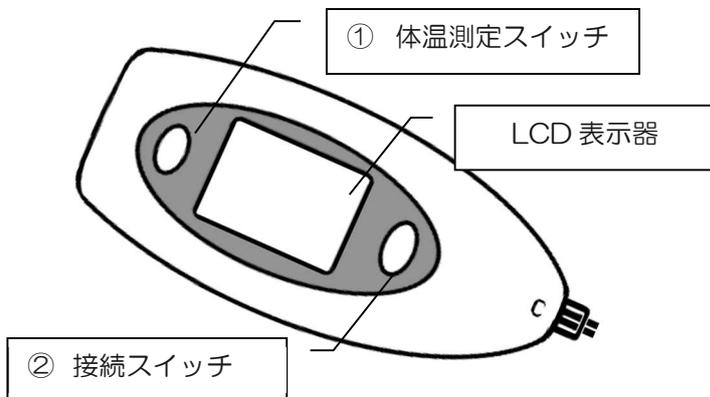
体温計設定

Finggal Link FLIRSTP-300

6 体温計設定

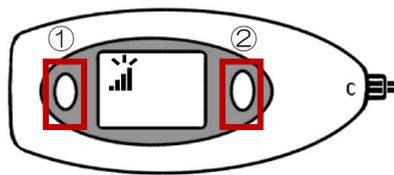
体温計機器詳細

体温計 (Finggal Link FLIRSTP-300)



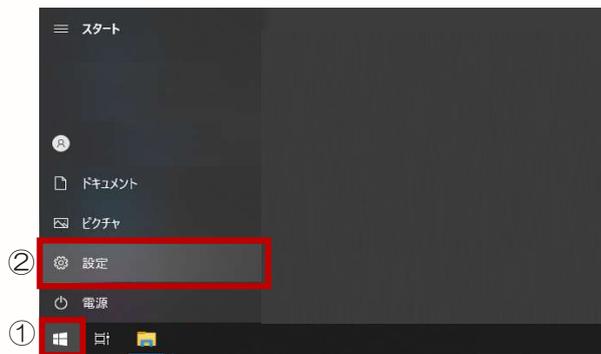
体温計 (Finggal Link FLIRSTP-300) は、事前に PC とペアリングが必要です。

ステップ 1



体温計の体温測定スイッチ(①)を押して電源を入れます。
接続スイッチ(②)を押します。
※電波マークが点滅することを確認してください

ステップ 2



[スタート] ボタン(①)をクリックして、スタートメニューの [設定] (②)を開きます。

※画面は windows10 です。

ステップ 3

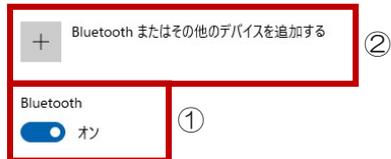


[デバイス] を選択します。

表示された画面から [Bluetooth とその他のデバイス] を開きます。

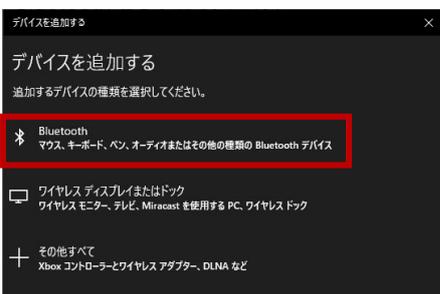
ステップ4

Bluetooth とその他のデバイス



[Bluetooth] (①)がONであることを確認します。
 [Bluetooth とその他のデバイス] の
 [+Bluetooth またはその他のデバイスを追加する] (②)をクリックします。
 追加するデバイスの種類 [Bluetooth]
 を選択します。

ステップ5



[デバイスを追加する] 画面が表示されたら、
 [Bluetooth] を選択します。

ステップ6



PC が体温計の Bluetooth を検索します。
 検索結果から「Dual-SPP」を選択します。
 ※体温計の電源が切れていた場合は、体温測定スイッチを押して、接続スイッチを押してください。

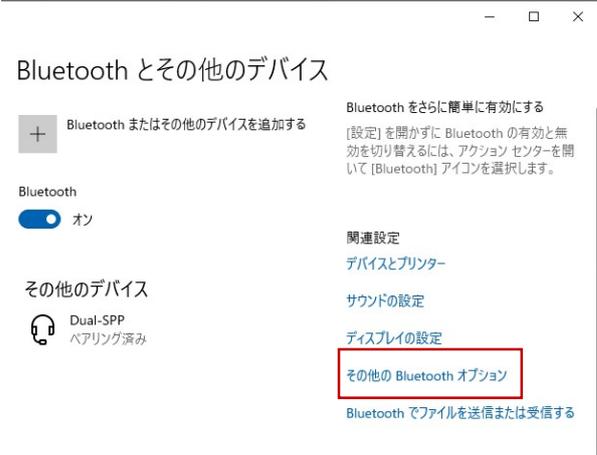
ステップ7



ペアリングが完了する画面が表示されます。

[完了] を押して画面を閉じてください。

ステップ 8



Bluetooth とその他のデバイス

Bluetooth またはそのデバイスを追加する

Bluetooth

オン

その他のデバイス

Dual-SPP
ペアリング済み

Bluetooth をさらに簡単に有効にする
[設定] を開かずに Bluetooth の有効と無効を切り替えるには、アクション センターを開いて [Bluetooth] アイコンを選択します。

関連設定

デバイスとプリンター

サウンドの設定

ディスプレイの設定

その他の Bluetooth オプション

Bluetooth でファイルを送信または受信する

[Bluetooth とその他のデバイス]の画面に戻ります。

[その他の Bluetooth オプション]を開きます。

ステップ 9



Bluetooth 設定

オプション COM ポート ハードウェア

この PC では、下の一覧に表示された COM (シリアル) ポートが使用されています。Bluetooth デバイスのマニュアルを参照して、COM ポートが必要かどうかを判断してください。

ポート	方向	名前
COM6	受信	Dual-SPP
COM7	発信	Dual-SPP SerialPort

追加(D)... 削除(R)

OK キャンセル 適用(A)

「COM ポート」を選択して以下の内容の COM 番号を確認します。

方向：発信

名前：Dual-SPP' Serial Port'

COM の番号が確認できたら、[Bluetooth とその他]のデバイスの画面を閉じます。

以上で、PC との接続準備は完了です。

ALC-Rec の設定をします。

ステップ 1



設定画面を表示して、[体温測定] メニューをクリックします。

ステップ 2

使用方法

体温機能を使用する

「体温機能を使用する」にチェックを入れます。

ステップ 3



体温計の機種 (①)「Finggal Link FLIRSTP-300」を選択します。

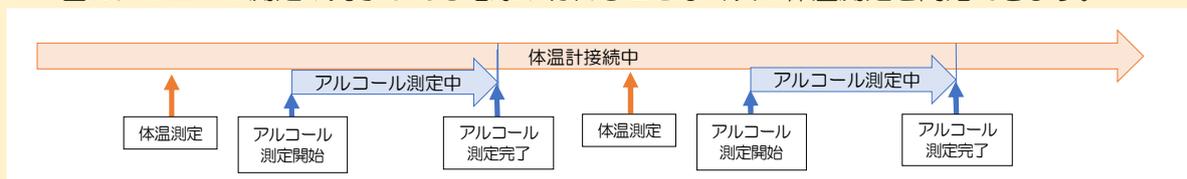
「使用 COM ポート指定」(②)に「体温計を接続する」のステップ 9 (P11) で確認した COM 番号を選択します。

測定モードについて…詳しい測定方法は P22～

Finggal Link FLIRSTP-300 は、「連続測定モード」と「省電力モード」の 2 種類が選択できます。

連続測定モード (短時間に多くの測定を行う場合に使用推奨)

ワンボタンで体温を測定することができます。アルコール測定前に体温測定を行います。1 回のアルコール測定が完了しても電源が切れることなく次の体温測定を開始できます。



※ただし、連続測定モードで長時間使用すると、電池の消耗が早まります。

省電力モード (測定時間にばらつきがある場合に使用推奨)

体温の測定毎に電源を入れて接続をします。アルコール測定中に体温測定を行います。アルコール測定が完了すると電源が切れるため、電池の消耗を抑えることができます。

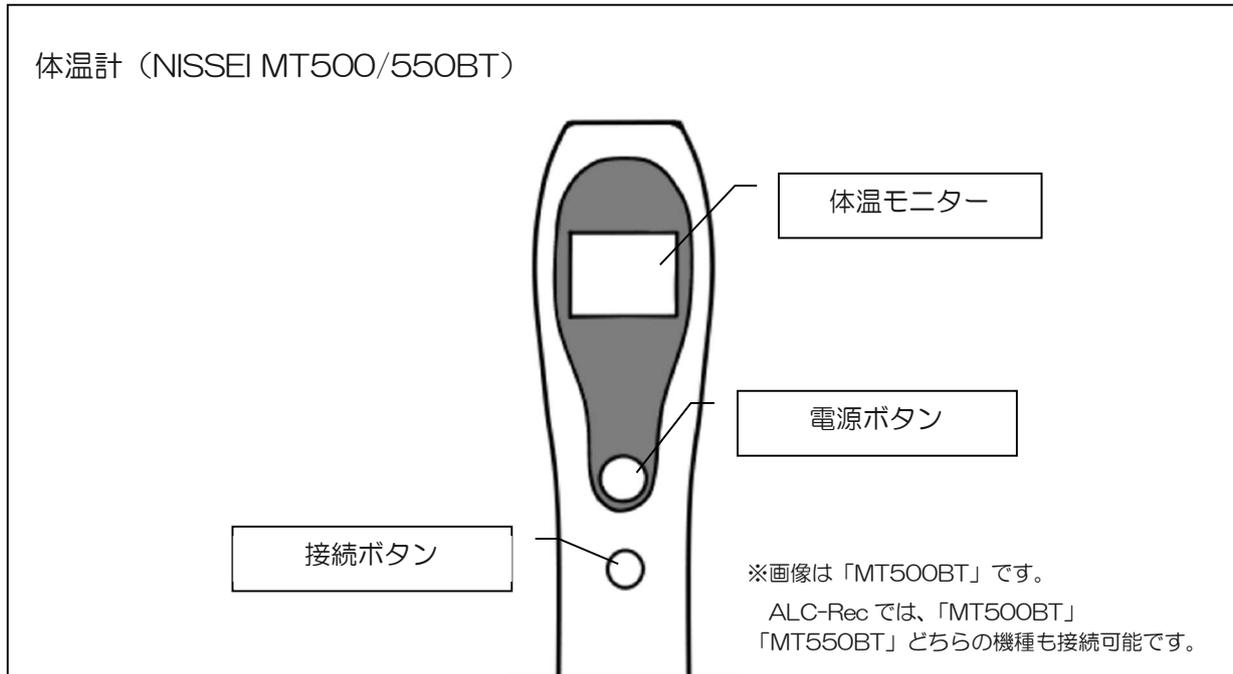


体温計設定

NISSEI MT500/550BT

6 体温計設定

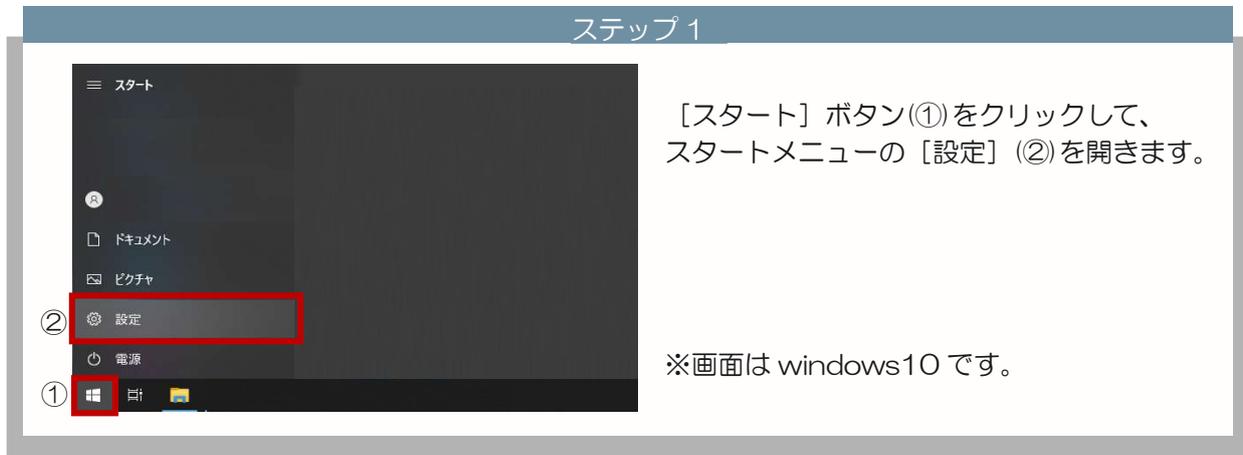
体温計機器詳細



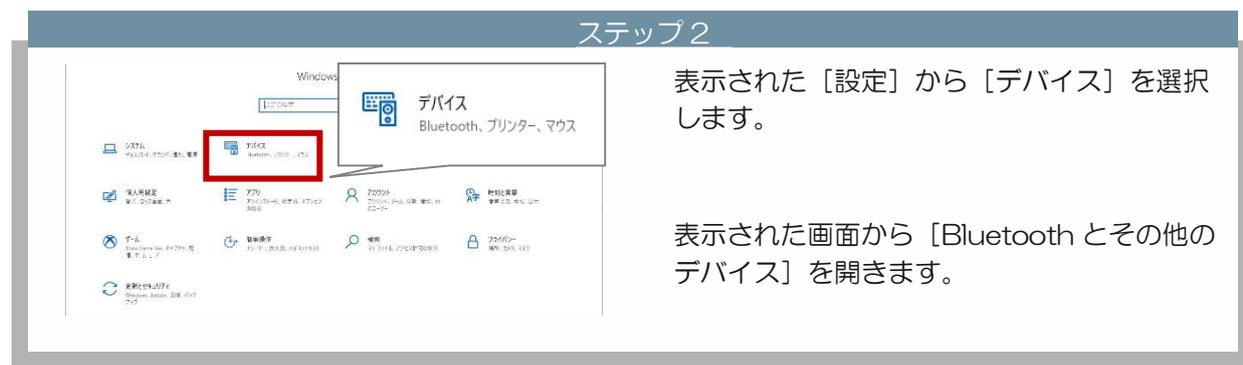
※NISSEI の体温計は、PC とのペアリングを行わないでください。

体温計 (NISSEI MT500/550BT) は、接続 ID を使用して ALC-Rec と接続を行います。

ステップ 1



ステップ 2



ステップ 3

Bluetooth とその他のデバイス

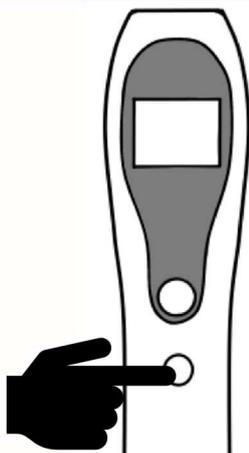
+ Bluetooth またはその他のデバイスを追加する

Bluetooth
オン ①

【Bluetooth】①が ON であることを確認します。

確認できたら、【Bluetooth とその他のデバイス】の画面を閉じます。

ステップ 4



体温計の接続ボタンを体温計の画面が表示されるまで押し続けます。

画面が表示されたらボタンから手を離します。

ステップ 5



体温モニターに 4 桁の数字が表示されます。

この数字が「接続 ID」です。

左図の場合、接続 ID は「1234」です。

※接続 ID を ALC-Rec に設定することで体温計を連動させます。

ステップ 6



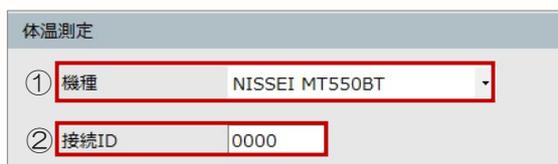
ALC-Rec の設定画面を表示して、
[体温測定] メニューをクリックします。

ステップ 7



「体温機能を使用する」にチェックを入れます。

ステップ 8



体温計の機種① [NISSEI MT550BT] を
選択します。

接続 ID にステップ 2 で確認した接続 ID
(数字 4 桁) を入力欄②に入力します。

完了したら、[設定]ボタンを
クリックしてください。

ステップ 9



メイン画面に体温マークが表示されます。

測定については P27 をご覧ください。

その他の体温計

使用しない（手入力）設定

6 使用しない（手入力）設定

ALC-Rec 体温計連動では、Finggal Link FLIRSTP-300・NISSEI MT500/550BT 以外の体温計で測定した結果を入力する「使用しない（手入力）」の設定があります。

ステップ 1



設定画面を表示して、[体温測定] メニューをクリックします。

ステップ 2

使用方法

体温機能を使用する

「体温機能を使用する」にチェックを入れます。

ステップ 3

体温測定

機種

使用しない(手入力)

体温計の機種 [使用しない（手入力）] を選択します。

[設定] ボタンをクリックします。

ステップ 4



設定を完了してメイン画面を表示すると、体温マーク(①)と入力欄(②)が表示されるようになります。

入力手順については P29 をご覧ください

測定者の登録（体温のみ測定）

7 測定者の登録（体温のみ測定）

体温のみ測定者を登録する

ALC-Rec 体温計連携では、アルコール測定の必要はないドライバー以外の方などの体温記録を残すことができます。体温のみを記録を残す測定者を登録します。

ステップ 1



測定者登録メイン画面が表示されます。
[新規登録] ボタンをクリックします。

測定者の登録については「ALC-Rec
ソフトウェアガイド -設定編-」の
メモ 取扱説明書をご確認ください。

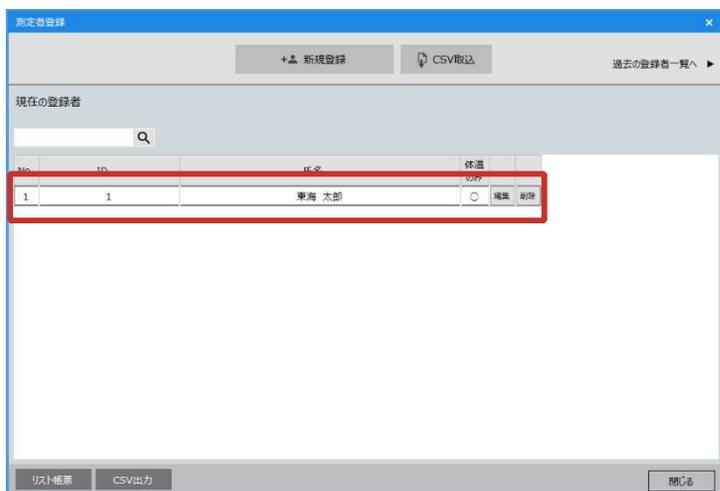
ステップ 2

体温のみ測定するかを指定します。

「体温のみ測定する」を選択した
測定者は、アルコール測定を行わずに
メモ 体温の測定結果を Rec に残す測定を行う
ことができます。

「体温のみ測定する」は、設定「体温
測定」で「体温機能を使用する」を
メモ 設定している場合に表示されます。

ステップ 3



測定者登録メイン画面の「現在の登録者」
に測定者が登録されます。
体温のみ対象者は「体温のみ」の項目に
「○」と表示されます。

アルコール測定も行う測定者は
「体温のみ」の項目に「×」と表示
メモ されます。

体温計測定方法

Finggal Link FLIRSTP-300

8 体温測定方法

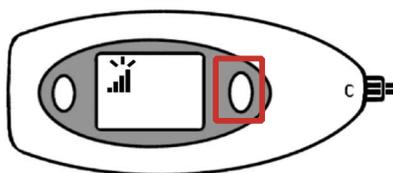
連続測定モードで測定をする。

連続測定モードを使用する場合以下の設定を確認してください。

機種	Fingallink FLIRSTP-300	[設定] の [体温測定] で [連続測定モード] を選択します。
測定モード	連続測定モード	

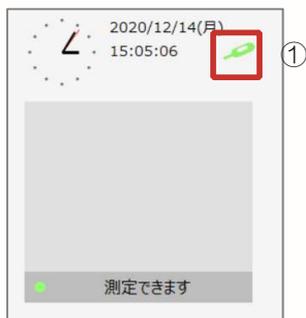
測定は以下の手順で行ってください。

ステップ 1



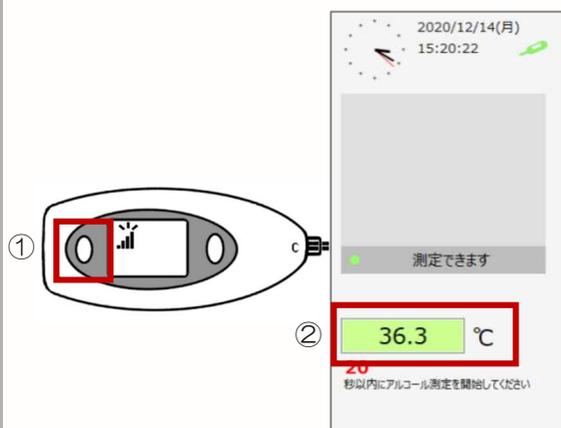
体温計の接続スイッチを押して
電波マークが点滅することを確認します。

ステップ 2



測定者画面の体温の接続マーク(①)が緑になることを確認します。
あわせて体温計の電波マーク(②)が点滅から点灯に変わることを確認します。
※体温の接続マークが緑色の間は、測定した体温の測定結果を受信します。

ステップ 3



体温計の体温測定スイッチ(①)を押して
体温を測定します。

体温を測定すると、ALC-Rec の測定者画面に
体温計と同じ体温が表示されます。(②)

※体温の値に異常があった場合、体温測定をやり直すことができます。
※体温の値を判定しています。正常・低熱・高熱の値を設定によって変更でき、画面の表示や受信音を設定できます。(設定の詳細は P34)

ステップ4



体温測定結果表示後、20 秒以内の
カウントダウンが始まります。

この時間以内に ALC-PRO II のキーから
測定者の ID を入力して [測定開始] キー
を押し、アルコール測定を開始します。

🔍 [測定開始] キーを押すとカウント
メモ ダウンはストップします。

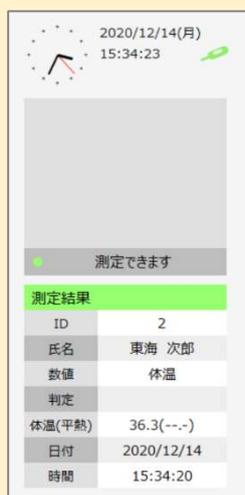
ステップ5



アルコール測定が完了するとアルコールと
体温の測定結果が画面に表示されます。

測定完了後も、体温計との接続は
継続しています。
続けて測定する場合は、ステップ4 から
行ってください。

体温のみ測定（連続測定モード）



測定者登録で、[体温のみ] に設定した測定者は、
測定を開始すると、ステップ5で [測定開始] キー
を押したとき、アルコール測定を開始せず、
ステップ6の測定完了画面が表示されます。
測定結果の数値に「体温」、判定が「空白」で
表示されます。

省電力モードで測定する

省電力モードを使用する場合以下の設定を確認してください。

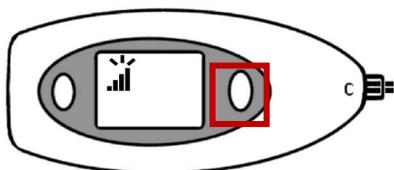
機種 Finggalink FLIRSTP-300

【設定】の【体温測定】で【省電力モード】を選択します。

測定モード 省電力モード

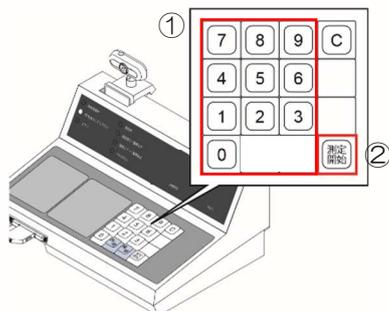
測定は以下の手順で行ってください。

ステップ 1



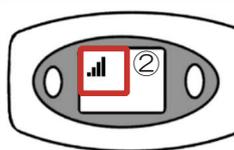
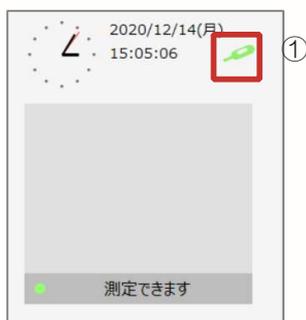
体温計の接続スイッチを押します。
電波マークが点滅することを確認します。

ステップ 2



ALC-PRO II のテンキー①から
測定者の ID を入力して
【測定開始】キー②を押します。

ステップ 3



【測定開始】キーを押すと、体温計との接続が
開始されます。

測定者画面の体温接続マーク①が
緑になることを確認します。

あわせて体温計の電波マーク②が点滅から
点灯に変わることを確認します。

接続と同時に、アルコール測定が開始します。

ステップ 4



体温計の体温測定スイッチを押して体温を測定します。

体温を測定すると、ALC-Rec の測定者画面に「体温」が表示されます。

※体温の値に異常があった場合、体温測定をやり直すことができます。

※体温の値を判定しています。正常・低熱・高熱の値を設定によって変更でき、画面の表示や受信音を設定できます。(設定の詳細は P34)

ステップ 5



アルコールを測定します。

アルコール測定が完了するとアルコールと体温の測定結果が画面に表示されます。

アルコール測定完了後は、体温計との接続が切断されます。

次の測定する場合は、ステップ 2 から行ってください。

体温のみ測定（省電力モード）



測定者登録で、[体温のみ] に設定した測定者で測定を行う場合、ステップ 4 で

[測定開始] キーを押すと

20 秒のカウントダウンが表示されます。

この時間内に体温測定をしてください。

体温測定が完了すると、ステップ 6 の測定完了画面が表示されます。

測定結果の数値に「体温」、判定が「空白」で表示されます。

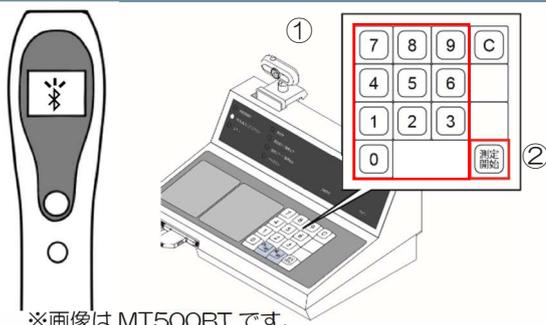
体温計測定方法

NISSEI MT500/550BT

8 体温測定方法

体温測定をする

ステップ 1



※画像は MT500BT です。

体温測定スイッチを押して体温を測定します。

体温計の接続マークが点滅している間に ALC-PRO II のテンキー(①)から測定者の ID を入力して [測定開始] キー(②)を押します。

ステップ 2



アルコール測定をします。

アルコール測定中に体温マークが赤になると、接続成功となり、体温を受信します。

※接続成功にしばらく時間がかかる場合があります。アルコール測定完了後も、体温の測定結果を 20 秒間受け付けます。

ステップ 3

準備中です	
測定結果	
ID	1
氏名	東海 太郎
数値	0.000
判定	A
体温(平熱)	36.3(---)
日付	2020/12/14
時間	15:26:47

アルコール測定が完了するとアルコールと体温の測定結果画面が表示されます。

※アルコール測定完了時、まだ体温の測定結果を受信していない場合があります。体温の測定結果を受信すると接続は終了します。なお、体温の測定結果が時間内に受信できなかった場合、体温測定結果は残りません。

体温のみ測定



測定者登録で、[体温のみ] に設定した測定者で測定を行う場合、[測定開始] キーを押すと 20 秒のカウントダウンが表示されます。

体温測定の受信が完了すると測定完了画面が表示されます。

測定結果の数値に「体温」、判定が「空白」で表示されます。

その他の体温計
使用しない（手入力）測定方法

8 体温測定方法

その他の体温計で測定する。

その他の体温計で測定する場合、以下の設定を確認してください。

体温測定	
機種	使用しない(手入力)

〔設定〕の〔体温測定〕で〔使用しない(手入力)〕を選択する

測定結果を入力する手順は以下の通りです。

ステップ 1

正常値を入力した場合

36.5	°C
体温を入力し、測定開始ボタンを押してください	

高熱を入力した場合

38.0	°C
体温を入力し、測定開始ボタンを押してください	

低熱を入力した場合

32.0	°C
体温を入力し、測定開始ボタンを押してください	

測定者画面の体温入力欄に測定した体温を入力します。

(入力は PC のキーボードをご利用ください)

入力した値によって入力画面の背景の色が変わります。

ALC-PRO II のキーから測定者の ID を入力して〔測定開始〕キーを押します。



入力した体温の値によって、入力画面の背景色が変わります。

色は、設定の基準値にしたがって表示します。

ステップ 2

準備中です	
測定結果	
ID	1
氏名	東海 太郎
数値	0.000
判定	A
体温(平熱)	36.3(--)
日付	2020/12/14
時間	15:26:47

アルコール測定が完了するとアルコールと体温の測定結果が画面に残ります。

体温のみ測定

測定結果	
ID	2
氏名	東海 次郎
数値	体温
判定	
体温(平熱)	36.3(--)
日付	2020/12/14
時間	15:34:20

測定者登録で、〔体温のみ〕に設定した測定者で

測定を行う場合、体温入力画面に体温を入力した状態で、〔測定開始〕キーを押します。

〔測定開始〕キーを押すと、

測定完了画面が表示されます。

測定結果の数値に「体温」、判定が「空白」で表示されます。

管理者の操作

9 管理者の操作

体温測定結果を確認する

■メイン画面 [測定結果一覧] で体温測定結果を確認する

①

No.	ID	氏名	数値	判定	日時	測定場所	体温
1	1	東海 太郎	0.000	A	2020/12/14 15:25:29	なし	済
2	1	東海 太郎	0.000	A	2020/12/14 15:26:46	なし	済
3	2	東海 次郎	体温		2020/12/14 15:34:19	なし	済
4	1	東海 太郎	0.000	A	2020/12/14 15:49:48	なし	済
5	2	東海 次郎	体温		2020/12/14 16:27:25	なし	済
6	1	東海 太郎	0.000	A	2020/12/14 17:07:59	なし	済
7	3	東海 三郎	0.000	A	2020/12/14 17:08:20	なし	済
8	1	東海 太郎	0.000	A	2020/12/14 17:08:36	なし	未

①

No.	ID	氏名	数値	判定	日時	測定場所	体温
1	1	東海 太郎	0.000	A	2020/12/14 15:25:29	なし	36.4
2	1	東海 太郎	0.000	A	2020/12/14 15:26:46	なし	36.3
3	2	東海 次郎	体温		2020/12/14 15:34:19	なし	36.3
4	1	東海 太郎	0.000	A	2020/12/14 15:49:48	なし	36.5
5	2	東海 次郎	体温		2020/12/14 16:27:25	なし	36.5
6	1	東海 太郎	0.000	A	2020/12/14 17:07:59	なし	32.0
7	3	東海 三郎	0.000	A	2020/12/14 17:08:20	なし	38.0
8	1	東海 太郎	0.000	A	2020/12/14 17:08:36	なし	

測定結果一覧 (①) に表示されている測定結果を確認します。

体温は設定により下記のように表示されます。

◆実施状況の場合

- 未 体温の結果がない
- 済 体温測定をしている
- 済 体温数値が低熱判定の結果
- 済 体温数値が高熱判定の結果

◆数値の場合

- 体温の結果がない
- 36.5 体温測定をしている
- 32.0 体温数値が低熱判定の結果
- 38.0 体温数値が高熱判定の結果

異常な体温結果

50℃を超える高熱や 30℃以下の低熱は、体温として判定しません。

また、この低熱・高熱の範囲を設定することで体温の異常値を変更できます。

ALC-Rec の設定 [判定] とは別に体温計の機器が体温異常と判断し、

体温の測定結果を送信しない場合があります。

体温測定でこれらの測定結果を受信した場合、測定結果には残りません。

■測定結果詳細画面で体温測定結果を確認する

ステップ 1

測定結果 (選択)							
ID	2	氏名	東海 次郎				
数値	体温	判定					
日付	2020/12/14	時間	16:27:25				

本日の測定結果							
No.	ID	氏名	数値	判定	日時	測定場所	体温
1	1	東海 太郎	0.000	A	2020/12/14 15:25:29	なし	済
2	1	東海 太郎	0.000	A	2020/12/14 15:26:46	なし	済
3	2	東海 次郎	体温		2020/12/14 15:34:19	なし	済
4	1	東海 太郎	0.000	A	2020/12/14 15:49:48	なし	済
5	2	東海 次郎	体温		2020/12/14 16:27:25	なし	済

測定結果一覧の確認したい測定結果をダブルクリックします。

ステップ 2

測定結果詳細	
基本情報	
ID	1
氏名	東海 太郎
測定結果	
数値	0.000
判定	A
日付	2020/12/14
時間	15:25:29
測定場所	なし
体温	36.4(--)
体温機種	FinggalLink
備考	

測定結果詳細画面が表示されます。

体温を測定している場合、体温の測定値と平熱、使用した体温計が表示されます。

平熱の算出方法

体温の平熱は、過去 90 日の測定結果の正常値から平均を算出します。

(計算は過去 5 日分の測定結果から始まります)

算出に使用する体温は、1 日の最後に測定した値です。

体温は測定時間によって大きく変動するため、参考値としてご利用ください。

運用に合わせた設定

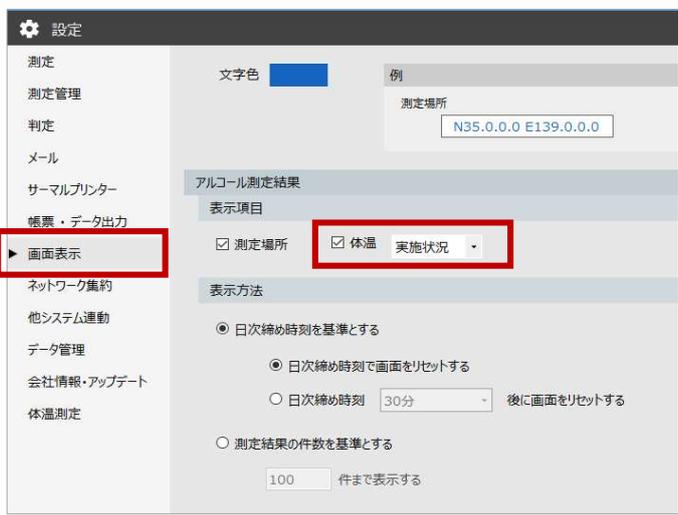
10 運用に合わせた設定

体温に関する設定

「体温機能を使用する」にチェックが入っていると、各メニューで体温に関する設定が使用できます。

■体温結果の表示方法を変更する

メイン画面・結果検索画面・測定者画面で表示する体温結果の表示方法を変更できます。



設定画面の「画面表示」メニューを表示します。
アルコール測定結果の表示項目「体温」を選択します。

数値：
数値で表示されます。

実施状況：
体温測定した人には「済」
体温測定していない人には「未」
が表示されます。

■体温の判定を変更する

体温を正常・低熱・高熱で判定する基準値を変更できます。



設定画面の「判定」メニューを表示します。
体温測定結果の判定の基準値が変更できます。

① 正常
▲35.0℃以上 ▲37.5℃以下の体温
この範囲の体温は、測定結果一覧で背景が白く表示されます。
また、正常な体温として平熱の算出に使用します。

② 低熱
▲32.0℃以上 ▲34.9℃以下の体温
この範囲の体温は、測定結果一覧で背景が青く表示されます。

③ 高熱
▲37.6℃以上 ▲42.0℃以下の体温
この範囲の体温は、測定結果一覧で背景が赤く表示されます。

※低熱・高熱の範囲を超えた値を「異常値」として扱います。異常値は、体温の結果として保存されません。

■体温の受信音を鳴らす

体温を受信したとき、[判定] の [基準値] に合わせて正常・低熱時・高熱時に音声を鳴らすことができます。

業務使選択音の再生
 C:\Program Files (x86)\ALC-Rec¥arrangeFile¥wav [選択] [初期化]

体温測定時の音声

警告音（高熱時）の再生
 C:\Program Files (x86)\ALC-Rec¥arrangeFile¥wav [選択] [初期化]

警告音（低熱時）の再生
 C:\Program Files (x86)\ALC-Rec¥arrangeFile¥wav [選択] [初期化]

体温完了音の再生
 C:\Program Files (x86)\ALC-Rec¥arrangeFile¥wav [選択] [初期化]

メール受信時の音声

メール受信音の再生
 C:\Program Files (x86)\ALC-Rec¥arrangeFile¥wav [選択] [初期化]

未測定理由登録/変更メール受信音の再生

設定画面の [判定] メニューを表示します。

体温測定時の音声の再生したい音声にチェックを入れます。

- ① 警告音（高熱時）の再生
 体温測定したときに体温測定結果の判定の基準値（高熱の範囲）に合わせて、警告音が鳴ります。メールで体温が高熱の値を受信したときも警告音が鳴ります。
- ② 警告音（低熱時）の再生
 体温測定したときに体温測定結果の判定の基準値（低熱の範囲）に合わせて、警告音が鳴ります。メールで体温が高熱の値を受信したときも警告音が鳴ります。
- ③ 体温完了音の再生
 体温測定したときに体温測定結果の判定の基準値（正常の範囲）に合わせて、警告音が鳴ります。



体温測定の警告音・完了音は ALC-Rec で体温を受け取ったときに鳴ります。

メールで正常な体温の測定結果を受信した場合、体温完了音は鳴りません。

鳴らす音声は、任意の音に変更することができます。

警告音（高熱時）の再生
 C:\Program Files (x86)\ALC-Rec¥arrangeFile¥wav [選択] [初期化]

警告音（低熱時）の再生
 C:\Program Files (x86)\ALC-Rec¥arrangeFile¥wav [選択] [初期化]

体温完了音の再生
 C:\Program Files (x86)\ALC-Rec¥arrangeFile¥wav [選択] [初期化]

[選択] ボタンをクリックします。
 表示される画面で、任意の音声（wav ファイル）を選択できます。

※ [初期化] ボタンをクリックするとインストール直後の初期値に戻ります。

■体温の測定結果をメールで送信する

メールの送信設定に体温の条件（体温 1・体温 2）が追加されます。運用に合わせて変更できます。

設定画面の [メール] メニューを表示します。
体温測定結果メールの送信条件を選択します。

体温の測定結果は、基本的にアルコール測定結果の本文に付随します。

◆送信

アルコール・体温の測定結果を送信する場合はチェックを入れます。
※体温測定のためのメールは送信されません

◆送信別判定

アルコールの送信判定です。
体温はアルコールの送信別判定に従って測定結果が送信されます。

◆体温 1

アルコール・体温の測定結果と体温のみの測定結果も送信します。

◆体温 2

設定の基準値に合わせて、低熱・高熱時に測定結果を送信します。
アルコール測定結果の判定レベルに関係なく、体温に異常があった場合は送信されます。

◆体温 1・体温 2

アルコール測定結果のある体温メールと体温のみ測定の低熱・高熱の測定結果のみをメールで送信します。

送信メール一覧

◆「体温 1」が有効

E-Mailアドレス	送信	写真添付	判定別送信	体温1	体温2	転送
xxxx-xxxx@toka...	<input checked="" type="checkbox"/>	なし	A以上	有効	無効	削除

送信されるメール
アルコール・体温測定結果メール（低熱・正常・高熱）
体温のみ測定メール（低熱・正常・高熱）

◆「体温 2」が有効

E-Mailアドレス	送信	写真添付	判定別送信	体温1	体温2	転送
xxxx-xxxx@toka...	<input checked="" type="checkbox"/>	なし	A以上	無効	有効	削除

送信されるメール
アルコール・体温測定結果メール（低熱・高熱）
体温測定メール（低熱・高熱）
※アルコール判定別送信の条件を満たしていない場合でも低熱・高熱時のメールは送信されます。ご注意ください。

◆「体温 1」「体温 2」が有効

E-Mailアドレス	送信	写真添付	判定別送信	体温1	体温2	転送
xxxx-xxxx@toka...	<input checked="" type="checkbox"/>	なし	A以上	有効	有効	削除

送信されるメール
アルコール・体温測定結果メール（低熱・正常・高熱）
体温のみ測定メール（低熱・高熱）

体温測定結果メールの受信について

測定結果を集約している ALC-Rec に体温の測定結果情報が入ったメールを送信することができます。

測定結果を集約 PC で受信・表示したい場合は、集約側の ALC-Rec が ver.3.04.001 以降、

ALC-Rec 拡張ディスク（体温測定）がインストールされている必要があります。



■プリンターで測定結果を印刷する

体温の測定結果をサーマルプリンターや他の印刷方法にて印刷することができます。

設定画面の [サーマルプリンター] メニューを表示します。

印字項目

①

- No.
- 測定日付
- 測定時刻
- ID
- 氏名
- 所属1
- 所属2
- 測定数値
- 判定
- 測定場所
- 乗務
- 車番
- 体温 数値

例 ※印刷結果はイメージです。

②

```

DATE : 20/12/09
TIME : 13:49:01
ID : 12345678
氏名 : 東海 太郎
測定結果 : 0.000 A
測定場所 : 東京営業所
体温 : 36.5
    
```

印刷したい項目 (①) にチェックを入れます。体温は「数値」、「実施状況」のどちらかで印字するかを選択できます。

数値：

体温測定結果の数値で表示されます。

実施状況：

体温測定したかどうかを表示します。体温測定した場合には「済」、体温測定していない場合は「未」が表示されます。



各項目がどのような順番で印字されるかが [例] (②) で確認できます。

拡張された機能の詳細

11 拡張された機能の詳細

メイン画面

■測定者用画面

体温マーク



設定「体温測定」で体温機能を使用する設定の場合、表示されます。

体温マークにカーソルを合わせてしばらく待つと情報が表示されます。

マークの色	色の意味
緑	体温計の接続を待機しています
グレー	体温計と接続ができていない状態です
赤	体温測定結果を受信しています

カウントダウン表示



◇Finggal Link FLIRSTP-300（連続測定モード）使用時

体温を受信してから 20 秒間カウントダウンが始まります。カウントダウン中にアルコール測定（もしくは体温のみ測定）を開始してください。20 秒経過すると測定した体温はリセットされるため、再度体温測定を行ってください。

◇NISSEI MT500/550BT 使用時

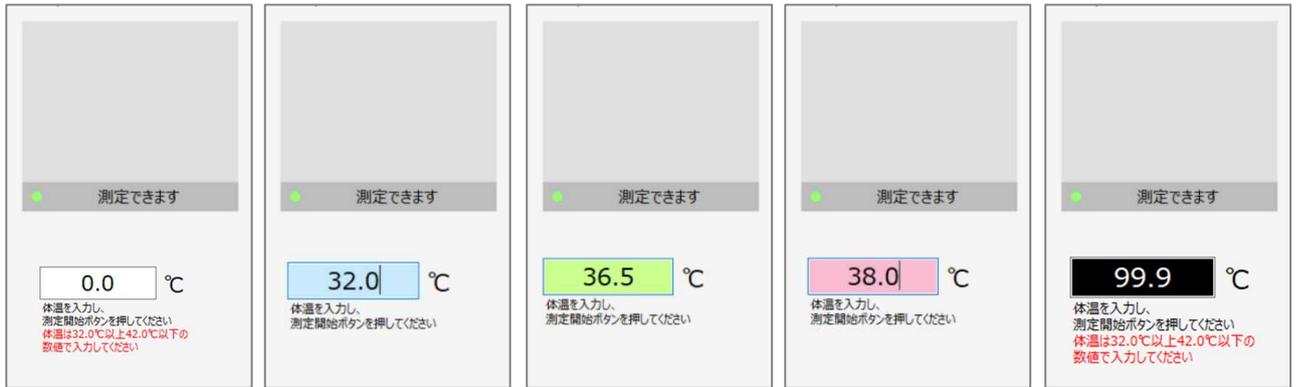
アルコール測定完了から 20 秒間カウントダウンが行われます。MT500/550BT の体温計は、体温測定後、接続に遅延が発生する可能性があります。

そのため、体温情報が受信できていない場合、体温の測定結果を受信する、もしくは 20 秒のカウントダウン終了によりサーマルプリンターの出力が行われます。また、カウントダウン中であっても、体温測定をしていなければ、次の測定者のアルコール測定を行ってもかまいません。

◇Finggal Link FLIRSTP-300（省電力モード）・NISSEI MT500/550BT 体温のみ使用時

〔測定開始〕キーを押すと、20 秒間カウントダウンが行われます。20 秒以内に測定した測定結果を体温のみの測定結果として記録します。

手入力画面



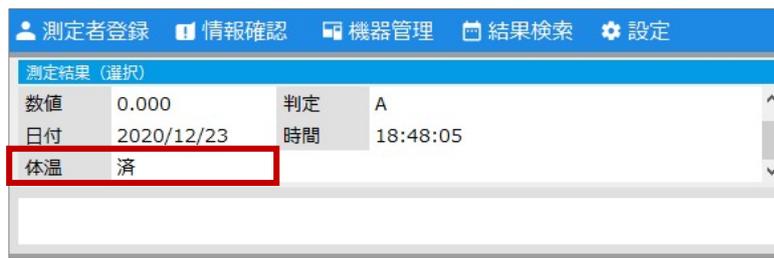
体温計の機種 使用しない（手入力）の設定にすると表示されます。

PC のキーボードから体温の値を入力できます。入力された体温と設定 [判定] で設定した判定値から背景の色が正常（緑）、高熱（赤）、低熱（青）、異常（黒）に変化します。

異常の範囲の体温を入力した場合は、体温の値は登録されません。

■管理者用画面

測定結果確認欄



メールで受信した測定結果、選択した測定結果を表示します。

プリセットフィルター検索

No.	ID	氏名	数値	判定	日時	フィルタ	ステータス
8	1	東海 太郎	0.000	A	2020/12/23 09:57:12	なし	済
9	1	東海 太郎	0.000	A	2020/12/23 09:57:39	なし	済
10	1	東海 太郎	0.000	A	2020/12/23 09:57:53	なし	済
11	1	東海 太郎	0.000	A	2020/12/23 09:58:13	なし	済
12	1	東海 太郎	0.000	A	2020/12/23 09:58:28	なし	済
13	1	東海 太郎	0.000	A	2020/12/23 10:38:39	なし	済
14	1	東海 太郎	0.000	A	2020/12/23 10:39:21	なし	済
15	1	東海 太郎	0.000	A	2020/12/23 10:39:55	なし	済

選択したフィルター条件に一致する測定結果・データを表示します。

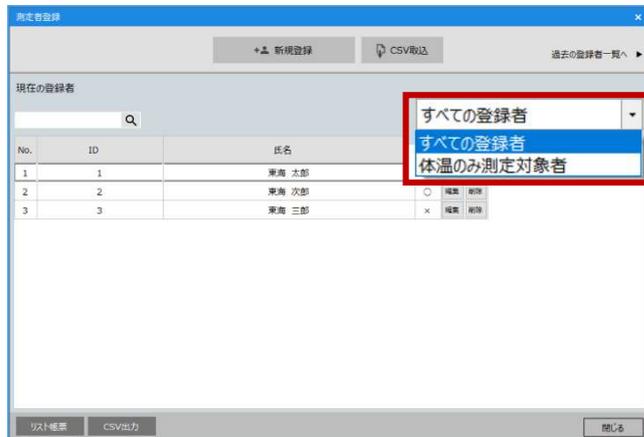
体温計を使用する設定により「体温異常の測定者の結果」「体温未測定の測定者の結果」「体温測定の測定者の結果」が追加されます。

- 「体温異常の結果」 体温の測定結果が低熱・高熱の測定者のみ表示します。
- 「体温未測定の結果」 体温の測定結果がない測定者のみ表示します。
- 「体温測定の結果」 体温の測定結果がある測定者全員を表示します。

測定者登録者画面

■測定者登録メイン画面

プリセットフィルター検索-データ表示条件フィルター



「体温のみ測定対象者」が追加されます。

測定者一覧登録情報項目—体温のみ

No.	ID	氏名	体温のみ		
1	1	東海 太郎	×	編集	削除
2	2	東海 次郎	○	編集	削除
3	3	東海 三郎	×	編集	削除

設定「体温測定」で「体温機能を使用する」を設定すると表示されます。
測定対象者は「○」、通常の測定者は「×」と表示されます。

■測定者情報入力画面

条件-体温のみ測定者

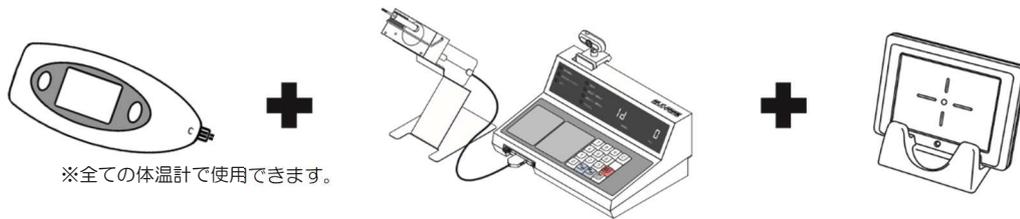
設定「体温測定」の「体温機能を使用する」を設定すると表示されます。

他アクティベーション機能との連動

ALC-Rec 拡張ディスク (IC 免許・点呼・監視灯) (別売り) を使用すると以下の機能が体温計と連動して使用することができます。

■ IC 免許証を使用して測定開始

測定開始の手順を ALC-PRO II で ID を入力後、[測定開始] キーから IC 免許証リーダーへ免許を置くことで測定を開始することができます。

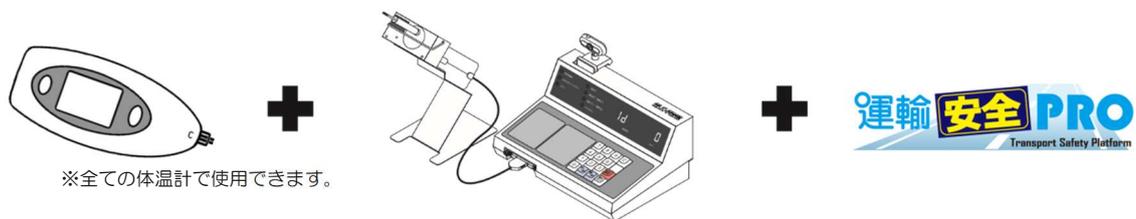


🔍 IC 免許証・点呼については「ALC-Rec 拡張ディスク (IC 免許・点呼・監視灯) ソフトウェアガイド」をご確認ください。

他システムとの連動

■ 運輸安全 PRO (別売り) に体温情報を送る

クラウドシステム「運輸安全 PRO」と連動するとクラウドで体温管理がおこなえます。



12 出力帳票

出力帳票は、帳票の形式（リスト帳票、写真付き帳票、週間帳票、乗務紐づけ帳票）に体温が追加されます。帳票の表示は、[画面表示] で設定した表示形式で表示します。

数値表示

2020/12/14 17:20

測定結果一覧 2020/12/14

No.	ID	氏名	測定日時	数値	判定	測定場所	体温	備考
1	1	東海 太郎	2020/12/14 15:25:29	0.000	A	なし	36.4	
2	1	東海 太郎	2020/12/14 15:26:46	0.000	A	なし	36.3	
3	2	東海 次郎	2020/12/14 15:34:19	体温		なし	36.3	
4	1	東海 太郎	2020/12/14 15:48:48	0.000	A	なし	36.5	
5	2	東海 次郎	2020/12/14 16:27:25	体温		なし	36.5	
6	1	東海 太郎	2020/12/14 17:07:59	0.000	A	なし	32.0	
7	3	東海 三郎	2020/12/14 17:08:20	0.000	A	なし	38.0	
8	1	東海 太郎	2020/12/14 17:08:36	0.000	A	なし		

実施状況

2020/12/14 17:21

測定結果一覧 2020/12/14

No.	ID	氏名	測定日時	数値	判定	測定場所	体温	備考
1	1	東海 太郎	2020/12/14 15:25:29	0.000	A	なし	済	
2	1	東海 太郎	2020/12/14 15:26:46	0.000	A	なし	済	
3	2	東海 次郎	2020/12/14 15:34:19	体温		なし	済	
4	1	東海 太郎	2020/12/14 15:48:48	0.000	A	なし	済	
5	2	東海 次郎	2020/12/14 16:27:25	体温		なし	済	
6	1	東海 太郎	2020/12/14 17:07:59	0.000	A	なし	済	
7	3	東海 三郎	2020/12/14 17:08:20	0.000	A	なし	済	
8	1	東海 太郎	2020/12/14 17:08:36	0.000	A	なし	未	

13 CSV 出力

CSV の項目に体温が追加されます。

■アルコール測定結果の CSV

◇メイン画面の測定結果一覧・結果検索（測定単位）からの出力 CSV
ID,氏名,数値,判定,日時,測定場所*,”乗務”*,”所属 1”*,”所属 2”*,車番*,**体温***

赤文字の項目が体温に関する項目です。
*の項目は設定により表示されます。
"" の項目名は設定により変更されます。

◇結果検索（1 週間単位）からの出力 CSV

ID, 氏名, 測定日時 1, 数値 1, ”乗務”1*, **体温 1***, 測定日時 2, 数値 2, ”乗務”2*, **体温 2***, 測定日時 3, 数値 3, ”乗務”3*, **体温 3***, 測定日時 4, 数値 4, ”乗務”4*, **体温 4***, 測定日時 5, 数値 5, ”乗務”5*, **体温 5***, 測定日時 6, 数値 6, ”乗務”6*, **体温 6***, 測定日時 7, 数値 7, ”乗務”7* **体温 7***

赤文字の項目が体温に関する項目です。
*の項目は設定により表示されます。
"" の項目名は設定により変更されます。

◇結果検索（乗務紐付き単位）からの出力 CSV

ID, 氏名, 車番*, 数値 (“乗務前”), 判定 (“乗務前”), 日時 (“乗務前”), 測定場所 (“乗務前”)*, **体温 (“乗務前”)***, 数値 (“乗務後”), 判定 (“乗務後”), 日時 (“乗務後”), 測定場所 (“乗務後”)*, **体温 (“乗務後”)***

赤文字の項目が体温に関する項目です。
*の項目は設定により表示されます。
"" の項目名は設定により変更されます。

■測定者登録メイン画面からの出力 CSV

ID, 氏名, 所属 1 コード*, ”所属名 1”*, 所属 2 コード*, ”所属名 2”*, フリガナ, 管理*,**体温のみ***

赤文字の項目が体温に関する項目です。
*の項目は設定により表示されます。
"" の項目名は設定により変更されます。

■アルコール測定毎の CSV

標準フォーマット 1 (拡張) / 標準フォーマット 2 (拡張)

下記項目が出力されます。

「標準フォーマット 1 (拡張)」のファイル名は「sokutei.csv」、
「標準フォーマット 2 (拡張)」のファイル名は「yyyymmddhhmmss-NNNNNNNN.csv (測定日時-測定者の ID)」です。

印字項目	内容
測定者ID	数字最大8桁 (例: ID200→200)
測定日時	yyyy/mm/dd hh:mm:ss
測定値	N.NNN (小数点ありの数字)
測定画像ファイル名	測定写真が保存されているパスと画像ファイル名
測定場所	ALC-PROの測定 → 空白 ALC-PROの測定結果メール → 測定したRECに設定されている測定場所 ALC-Mobile測定結果メール → 「モバイル測定」
免許期限残日数*	数字最大4桁: 免許証の残り有効期限日数 (例: 残り123日→1 2 3) -1: 免許証を使用しない設定 (設定が行われていない場合を含む)
車番	数字最大8桁 (例: 152→152) 0: 車番入力を省略した場合、出退勤機能を使用していない場合
乗務	0: 乗務設定なし・ALC-Mobile測定結果 1: 出庫 2: 帰庫
最高血圧*	数字最大3桁: (例180→180) 0: 測定なし
最低血圧*	数字最大3桁: (例 90 → 90) 0: 測定なし
脈拍*	数字最大3桁: (例130 →130) 0: 測定なし
体温*	NN.N (小数点以下の末尾が0であっても表示 (例: 36.0→36.0)) 0: 測定なし

* 拡張ディスクをインストールしていなくても、必ず出力されます。

アルコールを測定していない血圧結果・体温結果、アルコール測定後に行った血圧結果については出力されませんので、ご了承ください。
赤字の項目が体温に関する項目です。

標準フォーマットと標準フォーマット (拡張)

標準フォーマット (拡張) は従来の標準フォーマットとは別のフォーマットです。従来の標準フォーマットの末尾に血圧と体温の情報が追加されています。

標準フォーマット 1 (拡張) は今後の ALC-Rec アップデートにより、末尾に項目が追加される可能性があります。あらかじめご了承ください。

14 困ったときは

[接続編]

Q1

体温計が接続できません。

A1

PC の Bluetooth の設定は ON になっていますか。
もしくは、体温測定を接続している PC から離れた場所で行っていませんか。
通信状況によっては、不安定になる場合があります。
また、接続方法は、ご利用の体温計ごとに確認内容が異なります。

[Finggal Link FLIRSTP-300]

電源を入れた後、接続スイッチを押すことで接続が開始します。
接続スイッチを押してください。

[NISSEI MT500/550BT]

PC と体温計のペアリングを行うと接続できない場合があります。
接続 ID を使用して接続を行ってください。

Q2

体温マークが緑色なのに、体温の測定結果が受信できません

A2

[Finggal Link FLIRSTP-300]

ALC-Rec に設定した COM 番号が PC の設定と一致しているかご確認ください。

[NISSEI MT500/550BT]

ALC-Rec の設定で入力した接続 ID を確認してください。

Q3

NISSEI の体温計がつながりません

A3

Windows10 の PC ではない場合、接続ができません。
また、体温計が PC とペアリングされている可能性があります。
接続 ID を用いて接続してください。

Q4

Finggal Link の体温計が常時接続されません

A4

型が古い体温計の場合、接続が維持されません。
(電池ボックス内にあるシリアルが L001 から始まるもの)
東海電子から出荷されたものをご確認ください。

Q5

複数台の体温計を ALC-Rec に接続できますか

A5

できません。PC1 台につき、体温計 1 台をご利用ください。

[測定編]

Q6

体温の測定結果を受信して測定中断を
しました。体温の測定結果はどうなり
ますか？

A6

測定中断結果に体温の測定結果が表示されます。
設定により測定中断結果を表示することができます。

Q7

平熱が表示されません

A7

平熱を表示するために5日以上、同じ機種
の体温計で体温を測定する必要があります。
6日目の測定時に平熱が算出され
ます。

測定者の氏名や体温計の機種を変更
すると今までの算出はリセットされ
ます。

Q8

NISSEIの体温計で測定した体温と違
う値を受信しました。

A8

NISSEIの体温計は、体温以外に物
体・室温を測定するモードがありま
す。モードボタンを押して体温に変
更してください。

Q9

アルコール測定が開始しません。

A9

測定者が「体温のみ測定する」に
チェックがついている可能性があります。
測定者情報画面をご確認ください。

Q10

NISSEIの体温計を使用して、点呼
を連動していますが、測定した結果
と違う測定結果で点呼が開始しま
す。なぜですか。

A10

NISSEIの体温計の場合、体温の
受信が完了することで、点呼に情
報を送れるようになります。体温測
定が完了するまでは、前の測定結
果が送信されるため、体温受信ま
たは、カウントダウン終了(20秒)
までお待ちください。

Q11

測定方法を間違えたため、体温を測
定したら、おかしい値が送信され
ました。やり直したいです。

A11

[Finggal Link FLIRSTP-300]

測定モードが[連続測定モード]の
場合、[測定開始]キーを押すま
で体温のやり直しが可能です。

[省電力モード]の場合、アルコー
ル測定中であれば、測り直しが
できます。

ただし、体温のみ測定する場合、
やり直しはできません。もう一
度測定をしてください。

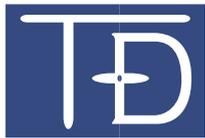
[NISSEI MT500/550BT]

体温マークが赤くなる前に測定を
やり直してください。

※通信状態によっては時間内に完
了しない場合があります。

- Q12
体温の項目にエラーと表示されます
- Q13
体温計の測定結果を集約するPCを集約専用で使用したいです。
- Q14
画面に「測定器と通信バージョンが異なるため、接続できません。」のメッセージが表示されます。
- Q15
NISSEIの体温計を使用して、点呼を連動していますが、体温測定後、点呼が開始しません。なぜですか。
- Q16
ネットワーク集約機能を使用して測定結果を集約したいです。
- Q17
「体温のみ測定する」が変更できません。
- Q18
異常値に設定したはずの体温が表示されます。
- Q19
「運輸安全 PRO」の顔認証と連動して使用できますか？
- A12
メールの本文に本来記載されない内容が記載されています。サポートセンターまでご連絡ください。
- A13
設定「アルコール測定器（ALC-PRO II）を使用する」を外すと、集約専用として使用できます。
- A14
体温計を使用する場合は、ALC-PRO II 本体のファームウェアが対応のものに変更する必要があります。
- A15
測定者が「体温のみ測定する」にチェックがついている可能性があります。測定者情報画面をご確認ください。
- A16
ネットワーク集約機能を使用した体温測定の集約はできません。体温のみの測定結果データについても集約機に送信されません。
- A17
ファイルマスターコピー同期機能を使用している場合、2号機（子機）で変更を行うことはできません。
- A18
異常値は、体温計から受信したPCの設定で判断されます。営業所間で異なる設定をしてメールの集約をしている場合、異常値が表示される可能性があります。
- A19
アルコール測定を顔認証で開始するとき、機種ごとの体温測定を行い、記録を残すことができます。
(顔認証測定方法の詳細は「運輸安全 PRO」の取扱説明書をご覧ください)

MEMO



東海電子株式会社

本社 〒419-0201 静岡県富士市厚原 247-15

<https://www.tokai-denshi.co.jp>

製品に関するお問い合わせ

サポートセンター

〒190-0012 東京都立川市曙町 2-34-13

オリンピック第3ビル 203 号室

TEL : 0120-609-100

FAX : 042-526-0906

support-alc@tokai-denshi.co.jp